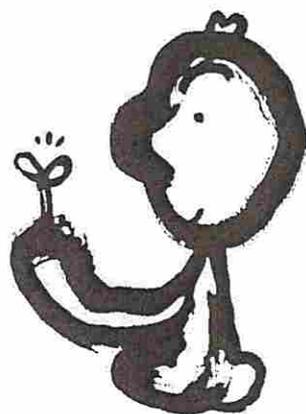


# 特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

平成 16 年度事業報告



平成 17 年 5 月

## はじめに

平成 16 年度のしみん基金・こうべは震災より 10 年目となる本年、諸団体が 10 周年事業を行なう中、諸事情を考慮し、助成事業を行なわず、財政面、運営面での力を蓄える年といたしました。その他の事業としては、神戸市より NPO 派遣アドバイザー事業を（特）神戸まちづくり研究所と協働で受託、前後期合わせて、30 団体にアドバイザーを派遣致しました。4 年目となる事業、ひょうごぼらんていああしすと事業も継続して、はーとふるふぁんど委員会より受託し、平成 16 年 1 月から事業を開始致しております。それぞれの詳細は報告書をご覧ください。

震災より 10 年を経て、市民活動においても大きな転換期を迎えております。経済情勢はやや明るさをみせておりますが、年月の経過とともに、市民活動を支える手は次第に少なくなろうとしています。今後の社会において大きな役割を果たすであろう市民活動の芽を大きく育てていくことが当基金の使命であることを肝に命じ、更なる努力を重ねて参る所存でございます。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ  
理事長 黒田 裕子



# 1 NPO支援アドバイザー事業（神戸市委託事業）

（特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所と協働事業）

本事業は、市民活動団体が社会からのニーズに対応し、より力をつけていただくために、経理・IT（パソコン）などの実務経験者を技術指導を希望する団体にアドバイザーとして派遣するものです。併せて、アドバイザーがNPOでの経験を得て、市民活動に対しての認識を深めていただくことも目的としています。今回は、各団体の組織基盤強化及び情報発信力の強化につながるよう専門性を重視した派遣を行います。（本事業は、政府の「緊急地域雇用特別交付金事業」の一環として、神戸市からの委託事業として行うものです）〔実施要項より抜粋〕

【派遣重点分野】 （1）情報発信力をつける

例：機関紙編集、ホームページ作成（更新）方法の指導など

（2）組織基盤の整備

例：事業計画書の作成及び目標管理、会計、労務、税務、保険、情報管理（データベース）等の指導

【派遣期間】

1 団体へのアドバイザー派遣期間は次の期間と致します。

派遣期間：平成16年6月初旬～平成16年10月下旬

平成16年10月初旬～平成17年2月下旬

前期派遣団体	後期派遣団体
ウィメンズネット・神戸	(特)兵庫セルフヘルプ支援センター
神戸フリースクール	神戸須磨北おやこ劇場
(特)東灘地域助け合いネットワーク	(特)ひょうご・まち・くらし研究所
神戸催眠協会	(特)東灘地域助け合いネットワーク
リーフグリーン	チャイルドライン神戸推進委員会
兵庫県有機農業研究会	(特)マザーサポートの会
神戸アイライト協会	げんき神戸
神戸須磨北おやこ劇場	AKO
こどもコミュニティケア	未来をひらく・マブイ六甲
日本ホスピス在宅ケア研究会	コープ活動サポートセンター住吉
識字教室ひまわりの会	カフェ・ペガサス
魚崎わかばサロン（CS 神戸）	(特)福祉ネット寿
中央むつみ会	ひょうごんテック
パラレルサポート	(特)てみずの会
	神戸いのちの電話

## 2 兵遊協・はあ〜とふるふぁんど（当基金受託事業）

### ひょうごボランティアあしすと事業

21世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、年3回に分けて、県内の福祉事業、ユネスコ活動事業、地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。今回は「ひょうごボランティアあしすと」として、地域ボランティア活動を対象に支援します。（はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋）

#### 【助成対象】

兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている5名以上で構成される団体。

#### 【助成額】

全体の活動費の4分の3相当で、最高100万円。

#### 【受付期間】

平成17年1月6日～2月28日

#### 【申請団体数】

申請団体数 130団体（内34団体に助成）

#### まとめ

本年度で第4回目となる事業ですが、引き続き、兵庫遊技業協同組合・AMこうべ、神戸新聞事業社で構成されるはあ〜とふるふぁんど委員会より委託を受けました。事業内容は従前通りですが、4年目を迎え、この助成制度が周知されてきたことにより、広範な分野からの申請があり、県下のボランティア活動を知る上で大変参考になりました。また、昨年度と同様に様々な団体の方々と触れ合いを持つ中で（申請149団体）、しみん基金の活動に理解を示して頂けたことは大きな意味があると思われま

### 3 寄付金

中島秀男	白水土郎
柳田邦男	兵庫県遊技業協同組合
オレンジスリフティ	竜田美枝子
炊き出し委員会	浦谷良美
神戸リサイクルセンター	島田誠
ほたんの会	被災地N G O協働センター
SMBC-A	森栗茂一

総額¥3,343,602

### 4 募金

K C Cライフプランセミナー  
神戸まちづくり研究所

総額¥84,100

## おわりに

本年度は、当基金設立以来、柱となる助成事業を行わず、受託事業を中心に1年間を送って参りました。草の根の市民活動を市民の手で支えるという理念に変わりはありませんが、震災から10年、市民活動の活動分野も広くなり、少ない財源の中では、全ての活動分野への助成は困難な状況です。当基金としては、更なる市民への周知と寄付の呼びかけを行っていきたいと考えます。そのために、昨年より開始したリサイクル寄付事業をはじめ、様々な事業を通じて市民への周知を図っていく所存です。それぞれの事業については関係各位のご協力により無事に終えることができました。ご支援、ご協力を頂きました皆様には心より感謝申し上げます。しみん基金・こうべは市民社会の一翼を担う市民活動を側面から支援していきたいと考えています。今後ともご支援、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。